

# 20回特別記念 問題行動研修会

『不登校 20 年間をふり返る。そして、今後は・・・』

学校長様  
諸機関・諸施設長様  
教育相談・生徒指導ご担当様  
養護教諭・スクールカウンセラー・心の教室相談員様

## 教師&専門家のための問題行動研修会について(お願い)

特定非営利活動法人教育研究所の研修会も今年で 20 年目を迎えます。毎年、全国から多くの参加者が集まり有意義な会であったと好評を頂いております。今年も文部科学省・全国都道府県教育委員会連合会（全国都道府県教育長協議会・全国都道府県教育委員長協議会の連合会他）の後援で 20 回特別記念問題行動研修会【第 20 回教師&専門家のための問題行動研修会】を開催致します。

幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生だけでなく、子ども達に係わる全ての先生が参加出来るように配慮してあります。また、児童相談所の相談員、福祉関係、児童生徒の問題行動（不登校・暴力行為・いじめ・児童虐待・高校中退・軽度発達障害等）を抱えた児童生徒の自立支援にかかわる仕事をされている専門家を対象に行います。

講師の先生は実際に様々な問題行動を深く理解し、それぞれの専門分野で活躍されている我が国を代表する先生をお招きしております。

受講される皆様が問題行動などを取り巻く様々な子どもの行動を理解し、対応方法を多方面にわたって学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

是非、これらの問題に取り組んでいる先生にご参加頂きたく、ご回覧などのご配慮をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 教育研究所理事長 牟田 武生

## 開催主旨

不登校児童・生徒数は教育機関を含め関連機関の対策や努力の結果、平成 14 年度から全国的に人数及び出現率に於いても減少に転じました。しかし、18 年度より増加に転じ予断を許さない状況にあります。高校生の不登校や中途退学者も同様です。最近では不登校児童生徒が長期間ひきこもり、20 歳を越え、ニートになっていく、一つの要因になることも分かってきました。

今年度、新しく書き換えられた文部科学省の学校・教員向けの生徒指導書の基本書ともいえる「生徒指導提要」では、不登校は心の問題のみとしてとらえるのではなく、社会的自立に向けて自らの進路を主体的に形成、生き方の支援としています。この問題は長期化すると、社会的ひきこもりを含め、二次的問題を引き起こしていきます。

不登校は“学校を 30 日以上欠席している”という現象ですが、その中には軽度発達障害を含め、児童虐待・いじめ・非行・暴力行為・高校中退・学習遅滞・友達や先生との人間関係・子ども自身の心の問題・親子関係等、様々な問題が含まれています。

不登校問題に対処する時、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広範囲の領域において、様々な対応が必要となります。しかし、残念ながら、一領域の対応が中心なため必ずしも効果的ではありません。総合的かつ連携的な取り組みへの理解者及び援助者の育成が急務になってきております。

20 年目を迎える今年度は特別企画として『不登校 20 年間をふり返る』をテーマに、生徒指導提要座長を務め、この研修会においても 20 年連続して講師を務めて頂いた大阪樟蔭女子大学長森田洋司先生にご教授賜ります。また、2 日目は様々な問題について、ワークショップを開催し、参加者の皆さま方とともに、この問題について、議論を含め、具体的な解決に向けて考えていきます。

今年度は特別にこの問題を抱えている保護者も参加します。幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生方だけでなく、子どもに係わる全ての先生方が参加できるように配慮してあります。また、児童相談所の相談員の方、福祉関係、児童民生委員の方々など不登校・ひきこもりや軽度発達障害にかかわる領域で仕事されている方々を参加対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童・生徒及び軽度発達障害等のそれぞれの専門分野で活躍する、我が国を代表する先生方をお招きしております。

受講される皆様が不登校や LD・ADHD・高機能自閉症に関する理解と取り組み（対応）を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

主 催 特定非営利活動法人 教育研究所  
後 援 文部科学省・全国都道府県教育委員会連合会・教育新聞社  
後援期間 平成 22 年 8 月 24 日(火)まで

# 20回特別記念問題行動研修会

## ・ 開催要項

☆東京会場（全体講義）：国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホール（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

日 時 平成22年8月23日（月）

受講費 8,000円（学生 8,000円）

定員 400名

☆東京会場（ワークショップ）：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟研修室（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

日 時 平成22年8月24日（火）

受講費 10,000円（学生 8,000円）

定員 各講座 30名

※ 二日連続でご参加の方は、受講費用が**16,000円（学生 14,000円）**になります。

※ 同一勤務先で5名以上ご参加の場合は受講費用が2割引になります。詳しくは事務局までお問い合わせください。

※ 定員になり次第締め切ります。学生の方は学生証コピーを同封またはFaxしてください。

※ 受講対象は教師及び教育関係者、指導主事、児童相談所相談員、精神保健福祉士、教育相談担当者（カウンセラー・セラピスト・臨床心理士・ケースワーカー・ソーシャルワーカー・社会福祉士・児童委員・医療関係者・学生も可）サポートステーション担当者、若者自立支援に係わる方等、問題行動にかかわる領域で研究をしている方。

## ・ 申込方法

① パンフレット内の申込書に必要事項を記入のうえ、下記に郵送あるいはFaxで送り下さい。

（確認の連絡は致しません）

【申込書 郵送先及びFax 送付先】 〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 NPO 法人教育研究所  
Tel. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742 E-mail [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org)

② 申込書送付後、下記いずれかの方法で受講料を振込み下さい。

入金が確認され次第、受講証・会場地図・領収書を送ります。

【受講料振込み先】 ・銀行振込 横浜銀行 上永谷支店（ヨコハマギンコウ カミナガヤ）  
店番 323 普通 1442815  
口座名義 特定非営利活動法人 教育研究所 理事長 牟田武生  
トクヒ) キョウイクケンキュウジョ リジチョウ ムタタケオ

・郵便振替 00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

## ・ 申し込み受講のご注意

① 申込書は楷書で記入して下さい。受講証等の送り先は夏休み中でも確実に受け取りのできる住所をお書き下さい。

② テキスト・資料などは参加受付時に各会場でお渡しいたします。

③ 天災、その他の事情等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても、研修会が開催された場合は参加費の返金はありません。

④ 止むを得ない事情により、講師を変更する場合があります。

⑤ 東京会場での宿泊に関しては、オリンピックセンター（03-3469-2525 申込み受付専用）に直接予約して下さい。

**・ 8 月 23 日 ( 月 ) 講座紹介&スケジュール**

時間	講師&講座名	講座内容
10:00 ～ 11:50	<b>【生徒指導提要进行を学ぶ】</b> ー社会的なりテラシーの涵養に向けてー 大阪樟蔭女子大学長 文部科学省生徒指導提要进行協力者会議座長 大阪市立大学名誉教授 森田 洋司	都市化や少子化、情報化社会が進む中で、社会全体の中で様々な課題が起きている。また、子どもたちの問題行動等の背景には規範意識や倫理観の低下が関係しているとも指摘されている。児童・生徒の問題行動で、過去からある課題、現在、起きた新たな課題、今後、起こることが予測できる課題等に対して、新しい生徒指導提要进行は一つの課題解決への考え方を示しました。そこで、生徒指導提要进行をまとめ上げた座長であり、我が国を代表する社会学者で、最高の知識人である森田洋司先生に、流動する社会全体像を大きく捉え、ながら、それらの問題を解決していくベースになる考え方のヒントご講義して頂きます。 『学校長・教育委員会・指導主事・全教員必修講座』
13:00 ～ 13:50	<b>【新しい生徒指導の基本書について】</b> ー生徒指導は学校が教育目標であり、子どもの人格形成を図るー 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課 課長補佐 井上賢一	生徒指導に関し、従来までは小学校から高校段階まで、理論・考え方や実際の方法等について時代の変化に即して網羅的にまとめた基本書が存在せず、生徒指導の組織的・体系的な取組も進んでいなかった。また、児童生徒の抱える問題の背景は複雑であり、警察や児童相談所の協力・連携の強化、地域や青少年健全育成団体、家庭との協力は欠かせない。それらを網羅した生徒指導の基本書ができた。それを活用され、生徒指導の一層の充実を図って頂ければ幸いです。 『全教員・相談員必修講座』
14:10 ～ 16:50	<b>ーシンポジウムー</b> <b>【長引いた不登校経験者や発達障害者の自立とは】</b> 花輪敏男(前山形県立山形聾学校長・東北文教大学講師) 野沢和弘(毎日新聞社編集委員) 体験者・親 司会 牟田武生(NPO 法人教育研究所理事長)	不登校や発達障害を抱えている子どもや家庭にとって、学校や社会の理解と協力は非常に大切なものである。近年においては本人・家庭・支援者の努力において学校や関連の教育施設においては、まだ充分ではないが、様々な成果が現れてきている。しかし、学校教育を離れ、あるいは成人に達し、職業的自立を視野に入れた社会的自立を考えると大変心細い社会的な状況である。 今回のシンポジウムでは、本人や家族にとって「自立とは」を様々な角度で考えながら、何が問題なのか、また、どのような支援が望ましいのかを考えて行きたい。 『全教員・相談員必修講座』

**・ 8 月 24 日 ( 火 ) ワークショップ 講座紹介&スケジュール**

少人数制のワークショップ形式です。申し込み時に講座を選んでいただきます。

A講座・B講座・C講座に分かれて各講師が90分×3コマの講座を受け持ちます。

期間中の講座の変更はできません。各講座とも定員30名の少人数でより専門的に学ぶワークショップです。

A講座	<b>【発達障害の早期の治療指導・予防の方法】</b> ー脳生理学、小児医学、心理臨床の共同研究により、早期の治療指導の方法を実践的に研究し、効果的な方法がわかった。この用法を乳児期に適用することで予防の方法も確立したー 小児医学、脳生理学、臨床研究の協力研究者 代表 さいたま市教育相談センター所長 金子 保 同主任相談員 野口 嵩・相談員 阿部 由紀子	ワークショップ① 発達障害スペクトラムについての理解と早期治療指導の方法 ー2歳で言葉のない子、増えない子の様子を見るのは問題ですー ワークショップ② 発達障害の予防について ーその方法は日本の伝統的育児ー ワークショップ③ 事例研究 『乳幼児の育児相談者、幼児教育者、小学校教員・コーディネーター、障害児の父母』
B講座	<b>【発達障害と教育相談】</b> ーそれぞれの状態における対応方法を考えるー 前山形県立山形聾学校長・東北文教大学講師 共栄客員教授・山形県自閉症協会会長 花輪 敏男	発達障害を抱える子ども達に対する教室でできる具体的な教育支援のあり方を子どもの状態像に応じた指導のあり方を検討する。教育現場で抱える悩みをわかりやすく解決する。 『相談員、担任教師、生徒指導担当』
C講座	<b>【不登校・ひきこもり長引かせないためには】</b> ー様々なケースについて親子への対応を考えるー NPO 法人教育研究所理事長 牟田 武生	不登校の長期化やひきこもりは本人の今後の人生を考える上においては避けたいことである。不登校の予防、初期の対応、長期化したケース、ネットゲーム依存を含んだケース等、それらの対応を参加者の事例の中から学ぶ、また、学校教育から社会的自立への公的支援についても紹介する。 『担任・進路指導教諭・適応指導教室、相談員必修講座』

日程	午 前		午 後 1		午 後 2	
8月24日(火)	10:00 ～ 11:50	ワークショップ①	13:30 ～ 15:00	ワークショップ②	15:20 ～ 16:50	ワークショップ③

**問題行動研修会申込書** (必要事項を記入し、チェックして下さい)

☆申し込み日 平成22年 月 日		※受講番号 (記入しないで下さい)	
参加者氏名 (ふりがな)		領収書宛名	
勤務先名		勤務先 所在都道府県名 ( 都・道・府・県)	
受講証送り先を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) して下さい。 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 〒			
連絡先 Tel ( )		Fax ( )	
E-Mail @			
☆受講希望日を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 <input type="checkbox"/> 8/23 <input type="checkbox"/> 8/24			
☆8月24日(火)に行ないますワークショップを受講の方は、希望講座を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 希望講座 <input type="checkbox"/> A講座 (担当 金子 保 先生) <input type="checkbox"/> B講座 (担当 花輪 敏男 先生) <input type="checkbox"/> C講座 (担当 牟田 武生 先生)			
☆申込書送付方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> Fax		☆支払方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替	
			☆振込金額をお書き下さい 円

※ この研修会への参加を契機に、ぜひそれぞれの地域で連携、交流を深め、お互いの取組の質を高める目的で参加者名簿を配布します。名簿は名前と勤務先名のみが表示ですが、名簿の掲載を望まれない方は次のをチェックして下さい。(名簿への掲載を望まない )

※ ご希望・ご連絡があればご記入ください

【申込書 郵送先及びFax 送付先】

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20 NPO 法人教育研究所

Tel. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742